

令和3年度地下水質測定結果について

水質汚濁防止法第16条の規定により策定した「令和3年度地下水質測定計画」に基づき実施した調査の結果について報告します。

I 調査の概要

1 調査対象項目

調査の対象項目は、地下水の水質汚濁に係る環境基準（以下「環境基準」という。）が定められている項目等30項目です（図表1）。

図表1 調査対象項目

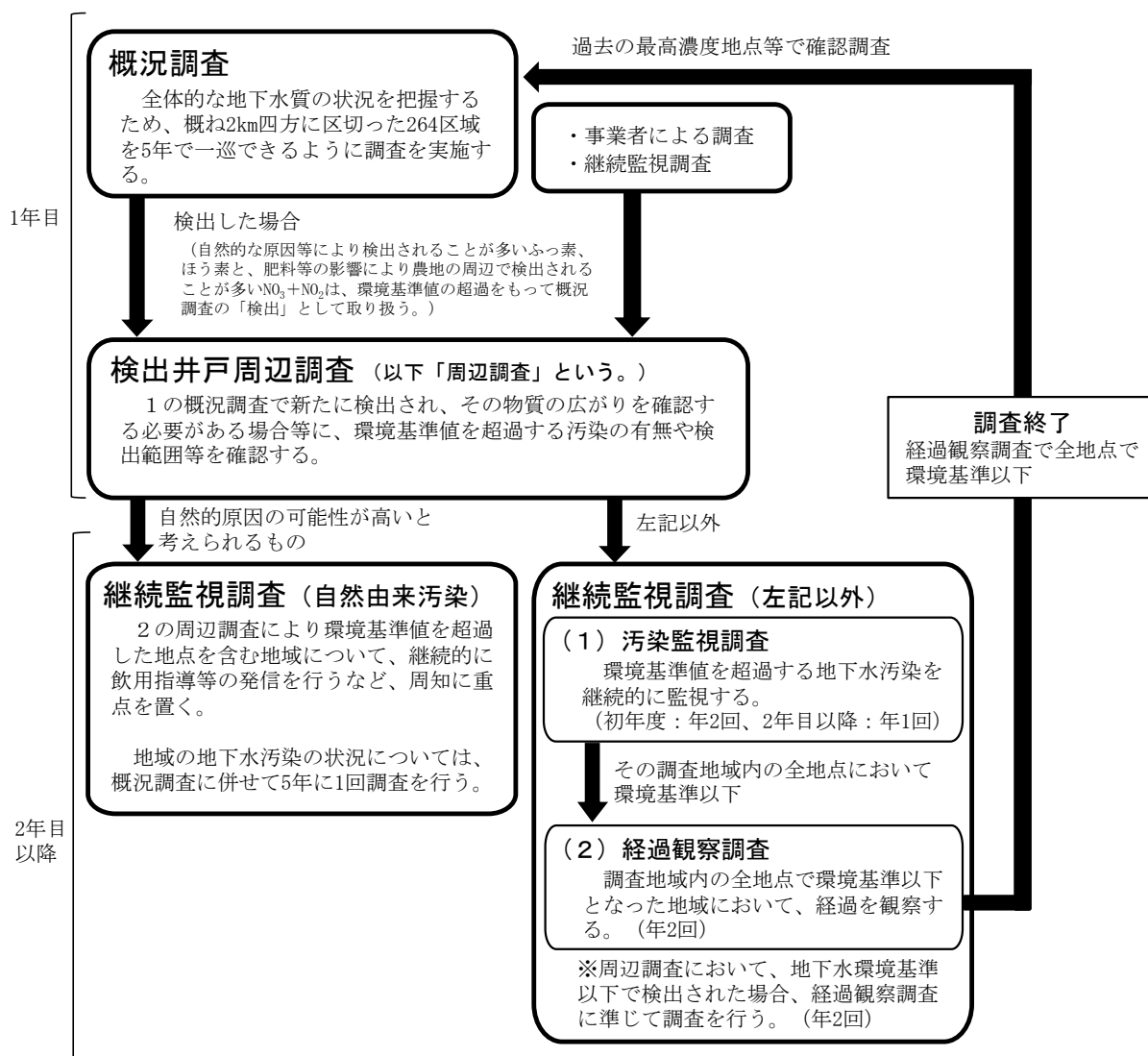
	項目	環境基準値[mg/L]	報告下限値[mg/L]	測定方法
環境基準項目	カドミウム	0.003 以下	0.0003	平成9年3月13日環境庁告示第10号別表に掲げる方法
	全シアン	検出されないこと。	0.1	
	鉛	0.01 以下	0.005	
	六価クロム	0.05 以下	0.02	
	砒素	0.01 以下	0.005	
	総水銀	0.0005 以下	0.0005	
	アルキル水銀	検出されないこと。	0.0005	
	PCB	検出されないこと。	0.0005	
	ジクロロメタン	0.02 以下	0.002	
	四塩化炭素	0.002 以下	0.0002	
	クロロエチレン(※)	0.002 以下	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	0.1	
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	0.0006	
	トリクロロエチレン	0.01 以下	0.001	
	テトラクロロエチレン	0.01 以下	0.001	
	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下	0.0002	
	チウラム	0.006 以下	0.0006	
	シマジン	0.003 以下	0.0003	
	チオベンカルブ	0.02 以下	0.002	
	ベンゼン	0.01 以下	0.001	
	セレン	0.01 以下	0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下	0.01	
	ふっ素	0.8 以下	0.08	
	ほう素	1 以下	0.1	
	1,4-ジオキサン	0.05 以下	0.005	
その他	pH	-	-	JIS K 0102 12.1
	電気伝導率	-	-	JIS K 0102 13

※塩化ビニルモノマーから名称変更

2 調査方法の概要

調査方法の概要は図表2のとおりです。

図表2 調査方法の概要



- 用語
- 区域：概況調査の対象として設定した県内を概ね2 km 四方に区切った範囲を示す
 - 地点：調査対象とした井戸のことを示す
 - 地域：調査対象項目毎の調査対象となる範囲を示す

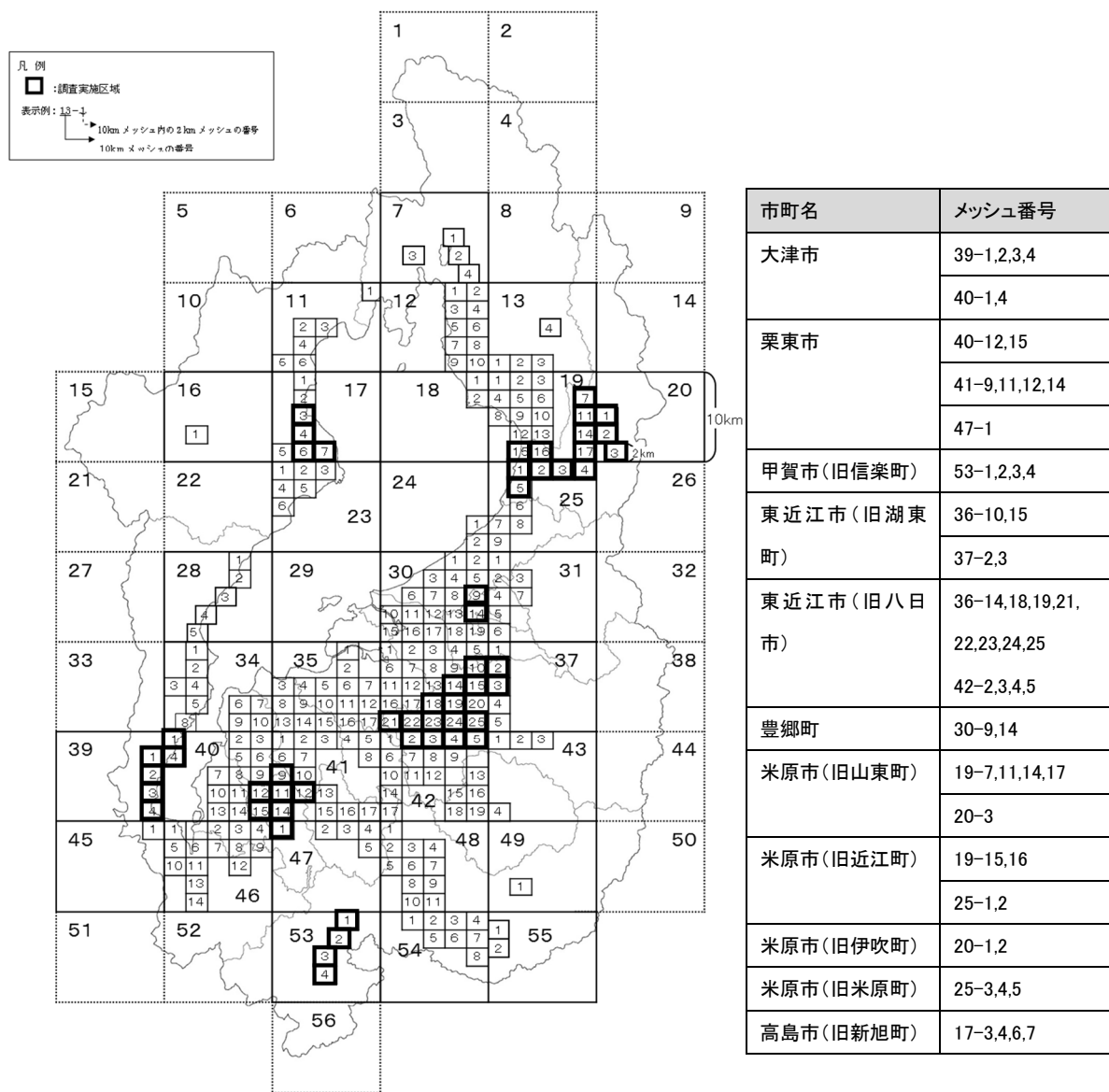
II 調査の結果

1 概況調査等の結果

図表3に示す令和3年度の調査対象区域53区域（59地点）において、環境基準が定められている項目等について概況調査および確認調査を実施しました。

なお、調査対象区域については、当初の計画では53区域（59地点）でしたが、井戸所有者の協力が得られなかった「39-4（中央地区：有機塩素系A）」を確認調査の調査対象区域から除きました。また、「36-24（東近江市地域：有機塩素系A）」を加え、53区域（59地点）となりました。

図表3 概況調査等の実施区域



注1) □の区域：令和3年度の調査対象区域（53区域）。これら53区域の各1地点において、図表1に掲げる項目のうち農薬4項目（1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ）を除く項目（ただし、調査実施市町内で農薬が検出される可能性が最も高いと推定される区域においては、農薬4項目を含む。）を調査。

注2) 令和3年度の調査対象区域（53区域）のうち、過去に当該区域内で環境基準値を超過して検出され、その後環境基準値以下となった地域が含まれている区域（7区域）の各1地点（最高濃度地点）において、過去に当該区域内で環境基準値を超過して検出された項目を調査。

概況調査の結果、53 区域（53 地点）のうち 2 区域（2 地点）で砒素が検出されました（図表 4）。

このうち、区域番号 40-4（大津市下阪本地区）の区域について、検出範囲等を確認するため、検出井戸周辺調査を実施しました。

区域番号 25-5（米原市下多良地区）の区域については、現在、継続監視調査を実施している地域内（長浜市・米原市湖岸地域内）であり、周辺の汚染の状況が明らかな地域であるため、検出井戸周辺調査を実施しませんでした。

また、確認調査の結果、全ての区域（6 区域（6 地点））で環境基準値の超過は認められませんでした。なお、区域番号 39-4（中央地区：有機塩素系 A）については、今年度は井戸所有者の協力が得られなかったため、次回の概況調査に合わせて、確認調査を実施します。

2 検出井戸周辺調査の結果

（1）概況調査を契機とした調査（図表 4）

1 の概況調査で砒素を検出した地点（区域番号 40-4（大津市下阪本地区））の周辺で検出井戸周辺調査（1 地点）を実施したところ、不検出でした。

このため、次年度は概況調査を実施した 1 地点で継続監視調査（経過観察調査）を実施します。

（2）工場・事業場が実施した地下水質調査を契機とした調査（図表 5）

東近江市に所在する事業者により事業場内の地下水調査が実施されたところ、敷地境界井戸において鉛が環境基準を超過して検出されました。この報告を受け、検出井戸周辺調査（4 地点）を実施したところ、全ての地点で不検出でした。

このため、継続監視調査は行わず、事業者が実施する事業場内の監視井戸での調査結果の報告により、その状況を監視します。

図表4 概況調査の結果およびそれを契機とした検出井戸周辺調査の結果

区域番号	検出地域	検出項目	環境基準値 [mg/L]	概況調査				検出井戸周辺調査						所管	
				検出数	超過数	最高値 [mg/L]	対応状況	地点数	検出数	超過数と超過地点	最高値 [mg/L]	次年度予定	備考		
40-4	大津市 下阪本地区	砒素	0.01	1	0	0.005	周辺調査を実施	1	0	0	<0.005	継続監視調査 (経過観察調査)	-	大津市	
25-5	米原市 下多良地区	砒素	0.01	1	1	0.032	継続監視地域内のため 周辺調査は実施せず	-	-	-	-	-	-	・5年周期で継続監視 調査(自然由来汚染) を実施	湖北

注) **ゴシック体太字** : 環境基準値を超過した項目とその値。

図表5 工場・事業場が実施した地下水質調査の結果およびそれを契機とした検出井戸周辺調査の結果

区域番号	検出地域	検出項目	環境基準値 [mg/L]	工場・事業場が実施した地下水質調査				検出井戸周辺調査						所管
				検出数	超過数	最高値 [mg/L]	対応状況	地点数	検出数	超過数と超過地点	最高値 [mg/L]	次年度予定	備考	
-	東近江市 湯屋町地区	鉛	0.01	8	2	0.046	周辺調査を実施	4	0	0	<0.005	事業者による 調査	・飲用に関する注意喚 起を実施	東近江

注) **ゴシック体太字** : 環境基準値を超過した項目とその値。

3 継続監視調査の結果

環境基準値の超過等が確認され、継続的に監視が必要な47地域（185地点）のうち、18地域（124地点）を汚染監視調査^{※1}として、1地域（12地点）を経過観察調査^{※2}として、4地域（7地点）を継続監視調査（自然由来汚染）^{※3}として継続監視調査を実施しました（図表6）。

図表6 継続監視調査結果の概要

		地域数	地点数	検出数	超過数
汚染監視調査	人為的な汚染原因が考えられるもの ^{※4}	18	124	63	29
経過観察調査	人為的な汚染原因が考えられるもの	1	12	2	0
継続監視調査 （自然由来汚染）	自然的原因の可能性が高いと考えられるもの ^{※5}	4	7	7	7
合計		23	143	72	36

注1）検出数：いずれかの項目の検出があった調査地点数。

注2）超過数：いずれかの項目の環境基準値超過があった調査地点数。

※1	汚染監視調査：環境基準値を超過する地下水汚染を監視するために実施する調査
※2	経過観察調査：前年度に調査地域内の全ての地点で環境基準値以下となった地域で経過観察のために実施する調査
※3	継続監視調査（自然由来汚染）：環境基準値を超過する地下水汚染を監視するために実施する調査のうち自然的原因の可能性が高いと考えられるもの
※4	人為的な汚染原因が考えられるもの：有機塩素系化合物など、人工的に生成された化学物質のほか、六価クロムなどの物質が、地下水汚染の生じている地域の周辺の工場等で原材料として使用されている場合は、人為的な原因によるものと考えられます。
※5	自然的原因の可能性が高いと考えられるもの： <ul style="list-style-type: none"> ・鉛、砒素、ほう素、ふっ素など、自然界（土壌中）に一定量存在する物質については、自然的原因の可能性がります。 ・「自然的原因の可能性が高い」と判断するため、周辺にこうした物質を原材料として使用している工場や不法投棄等が無いことなどを確認しています。

（1）汚染監視調査

汚染監視調査を実施した地域のうち5地域では、全ての地点で調査対象項目が環境基準値以下となったことから、次年度は経過観察調査を実施します。その他の地域については次年度も汚染監視調査を実施します。（図表7）

（2）経過観察調査

経過観察調査を実施した1地域では、全ての地点で調査対象項目が環境基準値以下となったことから、今年度で継続監視調査を終了します。（図表8）

当該地域は、次年度概況調査の対象区画に含まれるため、過去の最高濃度検出地点で確認調査を実施します。

（3）継続監視調査（自然由来汚染）

継続監視調査を実施した4地域では、全ての地点で調査対象項目が環境基準を超過し、過去の検出状況と比較し大幅な変動はないことから、次回の概況調査に合わせて調査を実施します。（図表9）

図表7 汚染監視調査の結果（人為的な汚染原因が考えられるもの）

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	次年度予定	備考	所管
							R2 年度	R1 年度				
1	大津市 馬場地区	クロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	-	0.002	継続監視調査 (経過観察調査)	・平成28年度にトリクロロエチレンの 環境基準超過を確認。 ・H29～R1 閉業のため採水不可。 ・営業再開によりR2年度から採水再 開。	大津市
		1,1-ジクロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	-	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	-	0.04			
		トリクロロエチレン	1	1	0	0.007	0.011	-	0.01			
		テトラクロロエチレン	1	1	0	0.001	0.001	-	0.01			
2	大津市 大江地区	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	2	2	1	18	16	29	10	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	大津市
3	草津市 矢倉地区	六価クロム	8	3	3	0.41	0.43	0.48	0.05	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	南部
4	草津市 矢倉地区	クロロエチレン	12	1	1	0.029	0.059	0.056	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	・計画では13地点であったが、1地 点で採水不可であった。当該井戸は 次年度採水可の見込み。 ・R1までモニタリング対象としていた 検出井戸が廃止され、代替として選 定した井戸で不検出が続いたため、 次年度は1地点減とする。(次年度 計画は12地点)	南部
		1,1-ジクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	12	2	0	0.027	0.053	0.62	0.04			
		トリクロロエチレン	12	4	2	0.020	0.024	0.028	0.01			
		テトラクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
5	草津市 岡本町地区	クロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	・井戸のポンプが故障し、修繕の見 込みがないため、次年度は1地点減 とする。(次年度計画は7地点)	南部
		1,1-ジクロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	8	1	1	0.024	0.036	0.047	0.01			
		テトラクロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
6	草津市 野路地区	クロロエチレン	11	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	南部
		1,1-ジクロロエチレン	11	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	11	2	0	0.010	0.006	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	11	3	0	0.006	0.002	0.002	0.01			
		テトラクロロエチレン	11	4	2	0.15	0.041	0.031	0.01			

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	次年度予定	備考	所管
							R2年度	R1年度				
7	守山市 播磨田地区	クロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	南部
		1,1-ジクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
		テトラクロロエチレン	12	4	1	0.011	0.016	0.010	0.01			
8	湖南市 石部地区	クロロエチレン	10	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	甲賀
		1,1-ジクロロエチレン	10	4	0	0.014	0.016	0.014	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	10	4	0	0.008	0.004	0.006	0.04			
		トリクロロエチレン	10	6	3	0.020	0.028	0.022	0.01			
		テトラクロロエチレン	10	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
9	甲賀市水口町 城内・東林口・ 西林口・北脇地区	クロロエチレン	14	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	・井戸枯れのため、次年度は1地点 減とする。(次年度計画は13地点)	甲賀
		1,1-ジクロロエチレン	14	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	14	2	0	0.005	0.012	0.014	0.04			
		トリクロロエチレン	14	5	0	0.002	0.003	0.002	0.01			
		テトラクロロエチレン	14	7	4	0.065	0.060	0.052	0.01			
10	甲賀市 水口町松尾地区	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	1	1	0	7.3	11	7.8	10	継続監視調査 (経過観察調査)	-	甲賀
11	近江八幡市 上田町・ 千僧供町・ 長福寺町地区	クロロエチレン	3	1	0	0.0002	0.0043	不検出	0.002	継続監視調査 (経過観察調査)	-	東近江
		1,2-ジクロロエタン	3	0	0	不検出	不検出	不検出	0.004			
		1,1-ジクロロエチレン	3	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	3	2	0	0.025	0.022	0.045	0.04			
		1,1,1-トリクロロエタン	3	0	0	不検出	不検出	不検出	1			
		1,1,2-トリクロロエタン	3	0	0	不検出	不検出	不検出	0.006			
		トリクロロエチレン	3	2	0	0.005	0.005	0.006	0.01			
		テトラクロロエチレン	3	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	次年度予定	備考	所管
							R2年度	R1年度				
12	東近江市 湯屋町地区	クロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	東近江
		1,1-ジクロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	1	1	1	0.011	0.015	0.014	0.01			
		テトラクロロエチレン	1	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
13	日野町 中在寺地区	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	1	1	0	9.8	13	47	10	継続監視調査 (経過観察調査)	-	東近江
14	彦根市 馬場・ 城町・ 長曾根地区	クロロエチレン	11	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	・井戸所有者の協力が得られなくな ったため、次年度は1地点減とす る。(次年度計画は10地点)	湖東
		1,1-ジクロロエチレン	11	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	11	3	0	0.038	0.062	0.063	0.04			
		トリクロロエチレン	11	2	0	0.002	0.002	0.002	0.01			
		テトラクロロエチレン	11	3	2	0.015	0.021	0.020	0.01			
15	彦根市 日夏・ 清崎・ 南川瀬地区	クロロエチレン	6	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	湖東
		1,1-ジクロロエチレン	6	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	6	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	6	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
		テトラクロロエチレン	6	3	2	0.055	0.038	0.039	0.01			
16	愛荘町 愛知川地区	クロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (経過観察調査)	-	湖東
		1,1-ジクロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	8	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	8	0	0	不検出	0.002	0.002	0.01			
		テトラクロロエチレン	8	4	0	0.008	0.011	0.026	0.01			
17	長浜市 大寺町地区	クロロエチレン	10	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	湖北
		1,1-ジクロロエチレン	10	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	10	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	10	2	0	0.003	0.004	0.003	0.01			
		テトラクロロエチレン	10	5	2	0.023	0.019	0.019	0.01			

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	次年度予定	備考	所管
							R2年度	R1年度				
18	米原市 村居田地区	クロロエチレン	5	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	継続監視調査 (汚染監視調査)	-	湖北
		1,1-ジクロロエチレン	5	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	5	0	0	不検出	不検出	不検出	0.04			
		トリクロロエチレン	5	0	0	不検出	不検出	不検出	0.01			
		テトラクロロエチレン	5	4	3	0.042	0.048	0.046	0.01			

注) **ゴシック体太字** : 環境基準値を超過した項目とその値。

図表8 経過観察調査の結果 (人為的な汚染原因が考えられるもの)

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	次年度予定	備考	所管
							R2年度	R1年度				
19	高島市 安曇川町 田中地区	クロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.002	-	・全地点で環境基準値以下であったため、継続監視調査を終了。 ・次年度は概況調査の対象区域に含まれるため、確認調査を実施。	高島
		1,1-ジクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	不検出	0.1			
		1,2-ジクロロエチレン	12	0	0	不検出	不検出	0.007	0.04			
		トリクロロエチレン	12	1	0	0.004	0.003	0.039	0.01			
		テトラクロロエチレン	12	1	0	0.005	不検出	0.002	0.01			

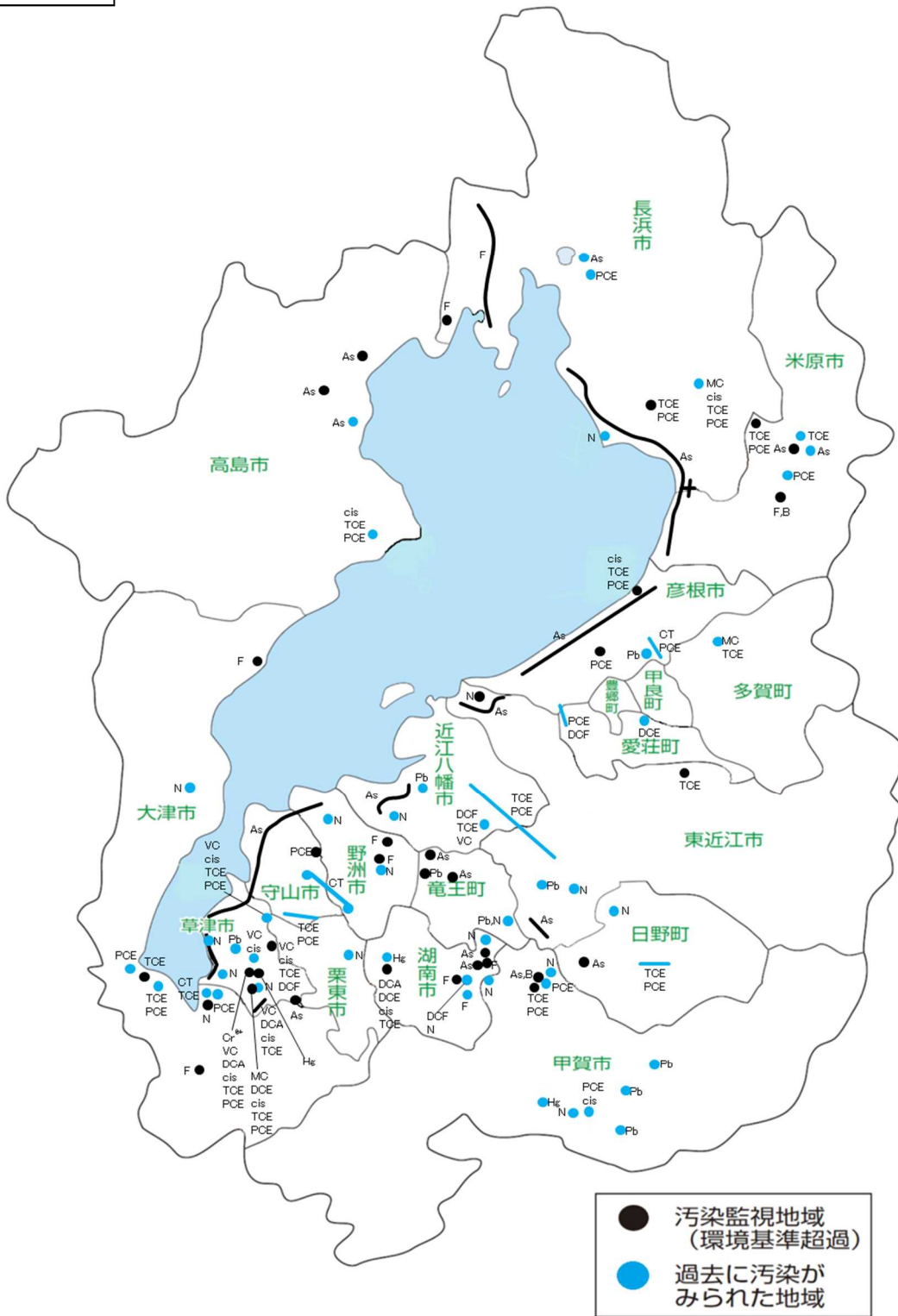
注) **ゴシック体太字** : 環境基準値を超過した項目とその値。

図表9 継続監視調査の結果 (自然的原因の可能性が高いと考えられるもの)

No	調査地域名	調査対象項目	地点数	検出数	超過数	最高値 [mg/L]	過去の最高値 [mg/L]		環境 基準値 [mg/L]	備考	所管
							R1年度	H30年度			
1	米原市 本市場地区	砒素	1	1	1	0.011	0.013	0.012	0.01	次回は、概況調査の実施時期に合わせて、継続監視調査(自然由来汚染)として実施。	湖北
2	米原市 本郷地区	ふっ素	1	1	1	2.1	1.6	1.8	0.8	次回は、概況調査の実施時期に合わせて、継続監視調査(自然由来汚染)として実施。	湖北
3	米原市 本郷地区	ほう素	1	1	1	2.2	1.8	1.9	1	次回は、概況調査の実施時期に合わせて、継続監視調査(自然由来汚染)として実施。	湖北
4	長浜市・米原市 湖岸地域	砒素	4	4	4	0.21	0.28	0.31	0.01	次回は、概況調査の実施時期に合わせて、継続監視調査(自然由来汚染)として実施。	湖北

注) **ゴシック体太字** : 環境基準値を超過した項目とその値。

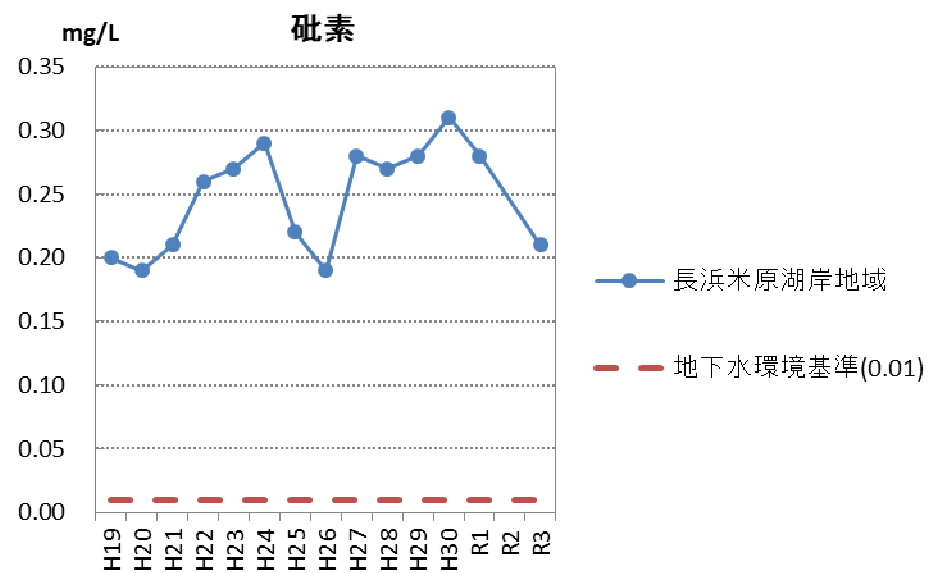
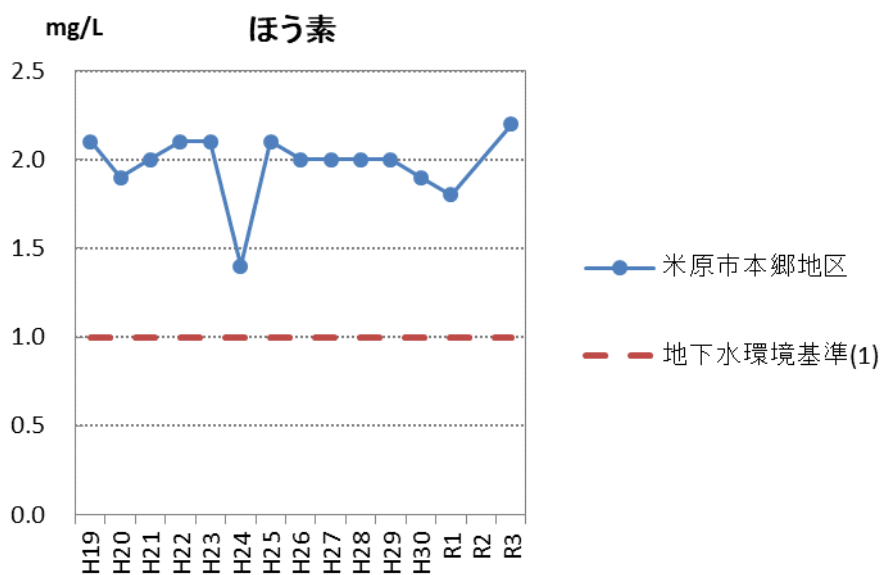
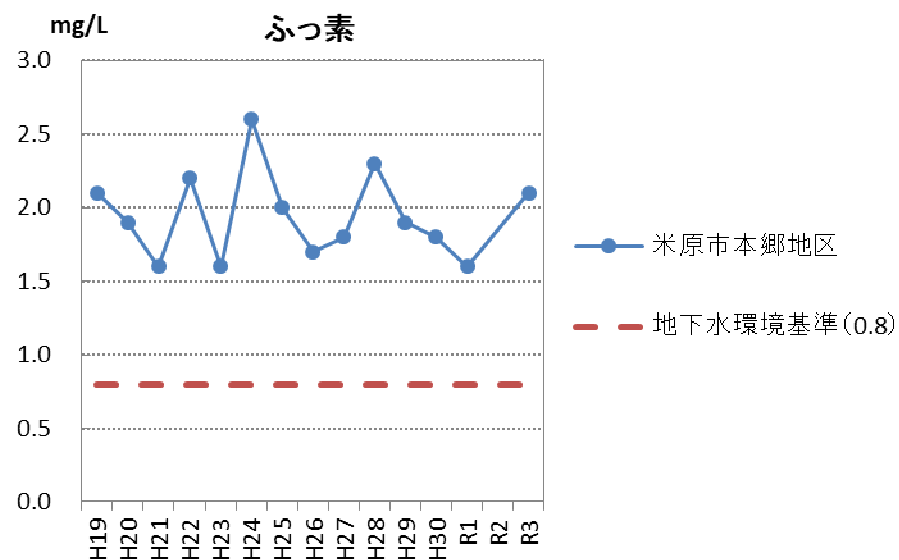
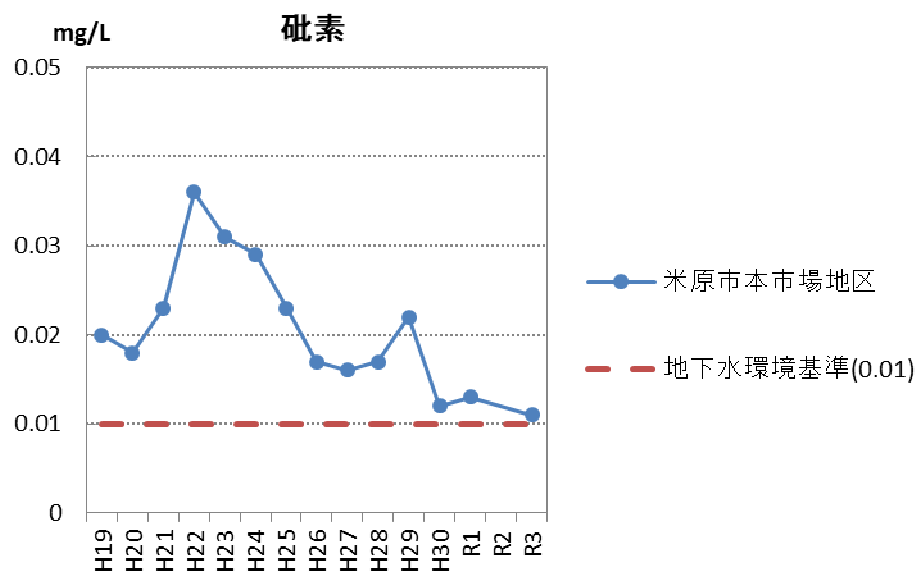
参考 1



- | | |
|--------------------------|------------------------|
| Pb : 鉛 | DCE : 1, 1-ジクロロエチレン |
| Cr ⁶⁺ : 六価クロム | DCF : 1, 2-ジクロロエチレン |
| As : 砒素 | cis : シス-1, 2-ジクロロエチレン |
| Hg : 総水銀 | TCE : トリクロロエチレン |
| CT : 四塩化炭素 | PCE : テトラクロロエチレン |
| VC : クロロエチレン | B : ほう素 |
| DCA : 1, 2-ジクロロエタン | F : ふっ素 |
| MC : 1, 1, 1-トリクロロエタン | N : 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 |

令和 4 年 (2022 年) 2 月末現在

参考 2 地下水調査結果の最高濃度検出地点での経年変化について（一部地域抜粋）
 自然的原因の可能性が高いと考えられるもの



参考 3

1 検出された項目の毒性等について

①鉛

毒性：長期間の暴露により、食欲不振、頭痛、貧血、関節痛等の中毒症状を呈する。

用途：蓄電池、はんだ、顔料、塗料等

②六価クロム

毒性：鼻、のど、気管支等の粘膜が侵される。

用途：合成用触媒、メッキ、顔料等

③砒素

慢性毒性：知覚障害、皮膚の青銅色化、浮腫、手のひら等の角化、嘔吐、腹痛、流涎、
肝臓肥大、肝硬変、貧血、循環障害等

④有機塩素系化合物

毒性：発ガン等

- クロロエチレン

用途：ポリ塩化ビニル等の合成樹脂の製造等

- 1,1-ジクロロエチレン

用途：塩化ビニリデン樹脂の原料等

- 1,2-ジクロロエチレン

シス-1,2-ジクロロエチレンの用途：溶剤、染料抽出、香料、ラッカー等

トランス-1,2-ジクロロエチレンの用途：カフェイン等熱に敏感な物質の抽出溶剤、
ワックス等

- トリクロロエチレン

用途：脱脂洗浄剤、溶剤等

- テトラクロロエチレン

用途：脱脂洗浄剤、ドライクリーニング溶剤、医薬品等

⑤硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

毒性：乳幼児のメトヘモグロビン血症（チアノーゼ、窒息）

用途：肥料、火薬製造、ガラス製造等

⑥ふっ素

毒性：過剰に摂取すると、斑状歯の発生がある。

⑦ほう素

急性毒性：嘔吐、下痢、腹痛

2 水質汚濁防止法、滋賀県公害防止条例(抜粋)

- 水質汚濁防止法（昭和 45 年法律第 138 号）

第 16 条 都道府県知事は、毎年、国の地方行政機関の長と協議して、当該都道府県の区域に属する公共用水域及び当該区域にある地下水の水質の測定に関する計画（以下「測定計画」という。）を作成するものとする。

2～4 （略）

- 滋賀県公害防止条例（昭和 47 年滋賀県条例第 57 号）

第 29 条の 5 有害物質使用特定施設を設置している者（規則で定める者を除く。第 29 条の 10 第 1 項において同じ。）は、規則で定めるところにより、有害物質使用特定施設を設置する工場等の敷地内の地下水の有害物質による水質の汚濁の状況について調査し、その結果を知事に報告しなければならない。

第 29 条の 9 知事は、工場等において有害物質に該当する物質を含む水の地下への浸透があつたことにより、地下水の有害物質による水質の汚濁の状況が地下水基準に適合しないと認めるときは、規則で定めるところにより、当該工場等の設置者（相続、合併または分割によりその地位を承継した者を含む。）に対し、相当の期限を定めて、当該水質の汚濁の状況が地下水基準に適合することとなるよう地下水の水質を浄化するための計画（以下「地下水浄化計画」という。）を作成するよう求めることができる。ただし、その者が、当該浸透があつた時において当該工場等の設置者であつた者と異なる場合は、この限りでない。

2～7 （略）

参考 4

ダイオキシン類の地下水質測定結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条に基づく地下水のダイオキシン類の調査結果は次のとおりでした。

1 概況調査の結果

概況調査では、県内の全体的な地下水中のダイオキシン類の状況を把握するため、5年間で県内 18 地点（大津市内を除く。）での調査を実施しています。

令和 3 年度は 3 市 1 町の 4 地点で調査を実施しました。この結果、4 地点全てで環境基準値以下でした（図表 10）。

図表 10 ダイオキシン類概況調査結果

No	所管	調査地域	値 [pg-TEQ/L]	環境基準値 [pg-TEQ/L]
1	南部	栗東市小柿付近	0.072	1
2	甲賀	甲賀市信楽町牧付近	0.10	
3	湖東	豊郷町安食西付近	0.065	
4	湖北	米原市市場付近	0.066	

